



## 個人投資家向け会社説明会

2020年9月13日

JR九州ホール

代表取締役会長 兼 CEO 金田 達三

オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス

<https://www.g-7holdings.co.jp>

G-7HOLDINGS progressing in  
"Autobacs" and  
"Supermarket Gyomu Japan"

東証1部上場 (証券コード7508)

- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ 今期業績および通期業績予想について
- ◆ 中長期の成長戦略について
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について
- ◆ 参考資料

**G** 国内外へ「グローバル」に成長する、「ガッツ」あふれる、  
活気に満ちる「グループ」を意味します。

**7** 創業者 木下 守が1975年に兵庫県加古川市の「セブンボール」という名のボーリング場の駐車場で、カー用品の販売を開始。ボーリング場の「セブンボール」と「ラッキーセブン」にあやかりました。



創業者名誉会長 木下 守  
代表取締役会長 金田 達三 代表取締役社長 木下 智雄

会社名

• 株式会社G-7ホールディングス (G-7HOLDINGS INC.)

設立

• 1976年（昭和51年）6月18日

資本金

• 17億8,570万円

従業員数

• 連結7,496名（2020年4月末現在）

株式

• 東証1部上場 証券コード 7508

代表者

• 金田 達三（かねだ たつみ）  
• 木下 智雄（きのした のりお）

本社

• 兵庫県神戸市須磨区弥栄台3-1-6

事業内容

• オートバックス、業務スーパーなどの事業を行うグループ会社の経営戦略・管理・運営等を行う持株会社

## 会社沿革

1975年（昭和50年） 加古川セブンボール駐車場に「オートセブン加古川店」を開店。

1976年（昭和51年） オートボックスフランチャイズチェーンに加盟、以降他店舗展開を図る。

1995年（平成7年） 商号を「株式会社オートセブン」に変更。

1996年（平成8年） 大阪証券取引所市場第二部に株式を上場

2001年（平成13年） 東京証券取引所市場第二部に株式を上場



オートボックス加古川店

2002年（平成14年） 子会社株式会社サンセブンを設立、株式会社神戸物産とFC契約を締結し「業務スーパー」事業を展開

2002年（平成14年） 東京証券取引所・大阪証券取引所市場第一部に指定

2006年（平成18年） G-7グループ各事業会社を支配・管理する持株会社の「株式会社G-7ホールディングス」に組織・商号変更

2012年（平成24年） マレーシアにオートボックス1号店を開店

2012年（平成24年） グループ会社の社名変更を実施

2015年（平成27年） 株式会社テラバヤシの株式取得し、連結子会社とする。



創業40周年記念式典

2016年（平成28年） 創業40周年記念式典・祝賀会を開催。売上高1,039億円、経常利益32億円、407拠点。

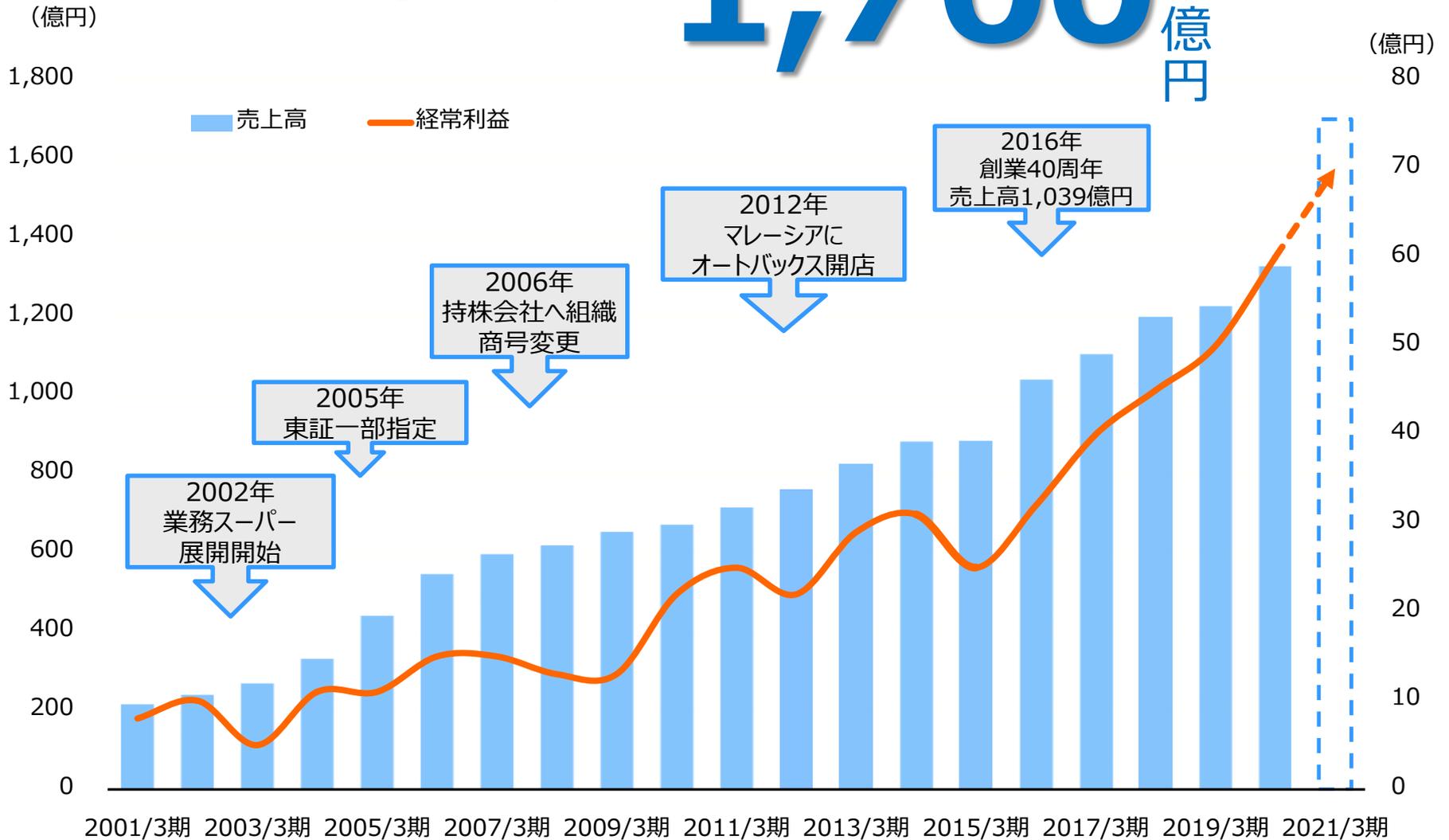
2016年（平成28年） G-7グループ創業者記念館完成。

2020年（令和2年） 創業45周年を迎える。

## 今期目標売上高

# 1,700

億円



- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ **G-7グループの主な事業**
- ◆ 今期業績および通期業績予想について
- ◆ 中長期の成長戦略について
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について
- ◆ 参考資料

オートバックス・  
車関連事業

業務スーパー  
事業



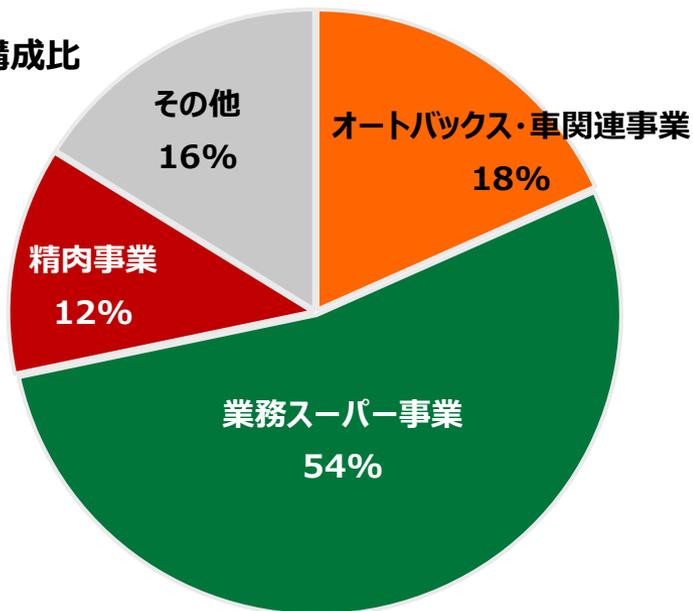
精肉事業

その他事業

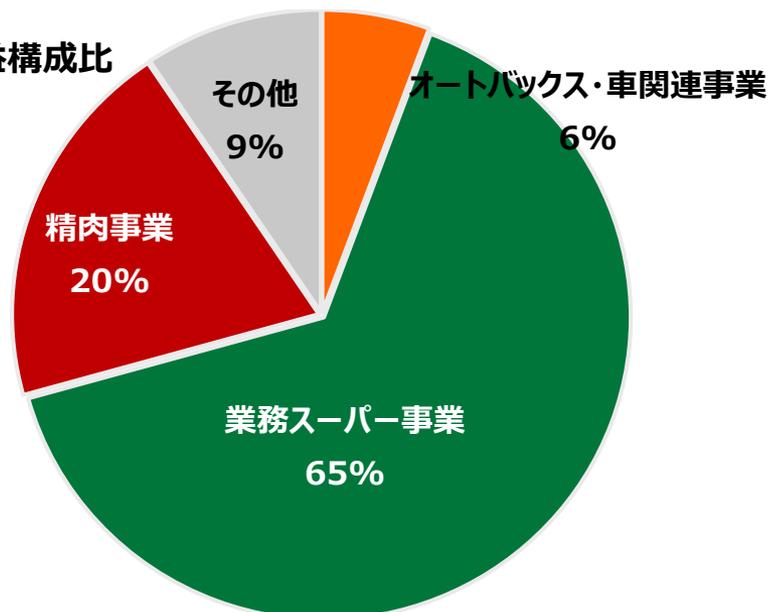
G-7グループは  
「オートバックス」と「業務スーパー」を核に全国に  
躍進するメガフランチャイジーです

# 2021年3月期第1四半期業績構成比

売上高構成比



経常利益構成比



セグメント	会社名	事業内容
オートバックス・車関連事業	G-7・オート・サービス	「オートバックス」の運営等
	G-7バイクワールド	「バイクワールド」の運営等
	G-7.クラウントレーディング	新車・中古車の輸出販売
業務スーパー事業	G-7スーパーマート	「業務スーパー」の運営等
精肉事業	G-7ミートテラバヤシ	食肉・畜産加工品の小売事業
その他	G7ジャパンフードサービス	食料品・飲料の製造、卸販売、飲食店の運営等
	G7アグリジャパン	「めぐみの郷」の運営等
	99イチバ	ミニスーパー「miniピアゴ」の運営等
	G7リテールジャパン	不動産開発、リユース事業、健康関連事業等

## オートバックス事業



カー用品の全国ブランド「オートバックス」の展開をメインに、車に関するあらゆる業態に取り組み、ドライバーのトータルカーライフに貢献しています。



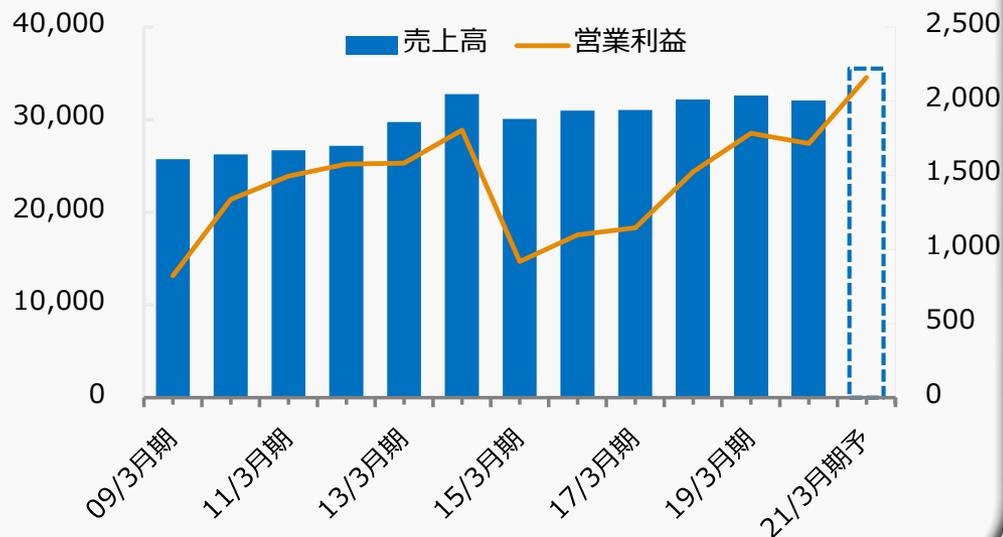
オートバックス    オートバックスエクスプレス    カーズ車買取販売



BP (板金集中) センター    クリスタルセブン    土山サーキット

オートバックス	65店舗
スーパーオートバックス	2店舗
オートバックスセコハン市場	1店舗
エクスプレス	7店舗
BPセンター	7拠点
クリスタルセブン	2拠点
土山サーキット	1拠点
オートバックス (海外)	3店舗

2020年8月末現在



## オートボックス・車関連事業②

【運営子会社】 (株)G-7バイクワールド、  
G7リテールマレーシア、G7タイランド

### バイクワールド事業

for riders on The earth. バイクワールド

# BIKEWORLD

国内 (コラボ店舗)	11店舗 (9店舗)
マレーシア	3店舗
タイランド	1店舗

2020年8月末現在



自社ブランドのバイク専門店「バイクワールド」を展開し、2輪の用品・パーツ・アクセサリー専門店、整備などの総合サービスを国内外で提供しています。Webショップの楽天市場店、バイク王の車両販売とのコラボ出店を展開しております。



バンコク・ナワミン店



【運営子会社】 (株)G-7クラウン・トレーディング

## 車輸出事業

主に東南アジア中東に**新車・中古車の輸出版売**をおこなっています。アフリカからの受注も増加しています。

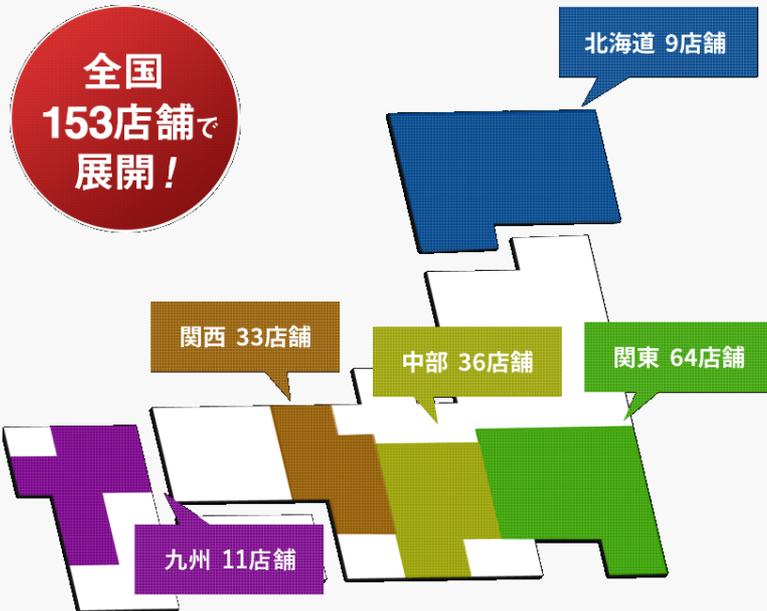


## 業務スーパー事業

一般のお客様大歓迎  
**業務スーパー**



食のプロから一般の方まで利用できる「業務スーパー」を全国展開。安全で安心できるよい品をお求めやすい価格で販売しています。食料品から割り箸・洗剤などの日用品までを販売し、毎日の食卓を応援しています。



2020年8月末現在



## 精肉事業



北海道	9店舗	中部	24店舗
東北	2店舗	近畿	28店舗
関東	73店舗	中国	5店舗
九州	2店舗	2020年8月末現在	

## 食肉卸し・小売・加工販売事業

食生活を支えるミートスペシャル企業を目指す、食肉卸し・小売・加工販売事業。主にG-7グループが運営する業務スーパー、めぐみの郷内のテナントとして出店しています。約9割の店舗内で加工やスライスを行っており、専門店ならではの品質の高い商品を提供しています。



## アンデス食品事業 (2020年7月発足)

日本でも有数の高級和牛の産地で育てられた高級銘柄の、血統や肉質などを厳しくチェックし、厳選された4等級以上から特選クラスまでを落札します。購入した枝肉は、ミートセンターの優れた技術者により除骨・成形・カットされ厳しい品質管理のもと、お客様へ出荷されます。全国のお客様に弊社の商品をお届けできるようインターネット販売を行っております。リピーター率も高く、高い評価をいただいています。



めぐみの郷事業



兵庫県を中心に、農産物直売所「めぐみの郷」を展開しています。めぐみの郷は、農家の方が、丹誠込めて育てた安全安心でおいしい野菜を直売する、まったく新しい流通システム。従来の流通経路をカットすることで、消費者の方には新鮮な野菜を安価に提供し、農家の方には安定収入ややりがい創出など農業支援に努めています。



関東	15店舗
中部	6店舗
近畿	23店舗

2020年8月末現在

### ミニスーパー事業



神奈川県と東京都内で都市型ミニスーパー「miniピアゴ」を展開。少子高齢化や単身世帯の増加・女性の社会進出に伴う「狭商圈化」「個食・小食化」に対応できる使い切り・簡単・便利な個食を中心とした食料品や生活用品を取り揃えております。生鮮食品を中心に「安全・安心」「鮮度」「美味しさ」を低価格で実現していきます。

東京都	59店舗
神奈川県	13店舗

2020年8月末現在

### こだわり食品事業

主な事業は食品の卸販売です。各地方の名産品や特産品を発掘し、「こだわり食品」として、百貨店などに卸販売を行っています。取り扱いアイテムは10万を超え、[2,000社以上の販売店](#)に卸しています。また、商品のセレクトから陳列、タイトルボード、プライスカード、広告までトータルで提案しています。



## 不動産事業

G-7グループの立地開発（オートバックス、業務スーパーなど）や、グループの各業態店舗およびテナントによる大型駐車場付きの複合商業施設G-7モールの企画・開発、不動産仲介業務、戸建て・マンションの仲介業務、不動産のコンサルティング業務を行っています。



G-7モール学園南  
(兵庫県神戸市)



G-7モール舞多間  
(兵庫県神戸市)

### リテール事業

ブランドリサイクルショップ  
**キングラム**

**ステップゴルフ**

**Curves**  
他リユース事業

### コインランドリー事業

**mammaciao**

### スイーツ事業

ザクザク  
**CROQUANTCHOU ZAKUZAKU**

**RINGO**

神戸 **やまや**

### 飲食事業

**いきなりステーキ**  
**IKINARI STEAK**

神戸新町 **七の毒**

カーブス	20店舗	ステップゴルフ	3店舗	ザクザク	1店舗	マンマチャオ	5店舗
キングラム	1店舗	いきなりステーキ	9店舗	RINGO	1店舗	たい焼やまや	3店舗

# G-7の強み～グループ事業の結集 G-7モール展開

大型駐車場付きの複合商業施設をG-7モールとして、グループの店舗やテナントを入れて集客のシナジー効果を促す、モール事業に力を入れています。

各モールでは毎年グループ事業が結集した「モールフェスティバル」を開催し、地域のお祭りとして、根づいています。

G-7オートモール姫路、G-7モール花田  
 G-7モールベふ、G-7モール高砂  
 G-7モール伊丹、G-7モールひよどり台  
 G-7モール神戸三田、G-7モール塩屋北  
 G-7オートモール土山、G-7モール西脇  
 G-7モール舞多聞、G-7モール須磨北  
 G-7モール北六甲、G-7モール学園南  
 G-7モール和田山、G-7モール神戸北  
 G-7モール篠山、G-7モール亀岡

G-7オートモール野田梅郷  
 G-7モール千葉ニュータウン  
 G-7モール木更津金田

G-7モール総社  
 G-7モール岡山久米

G-7モールやしろ  
 G-7モール福井北  
 G-7モールさばえ

## 全国26箇所でG-7モールを展開中



G-7スーパーマートが運営する「業務スーパー」は、青果部門を「めぐみの郷」と精肉部門を「お肉のてらばやし」がテナントとして出店し、グループの強みを活かした出店を展開しています。



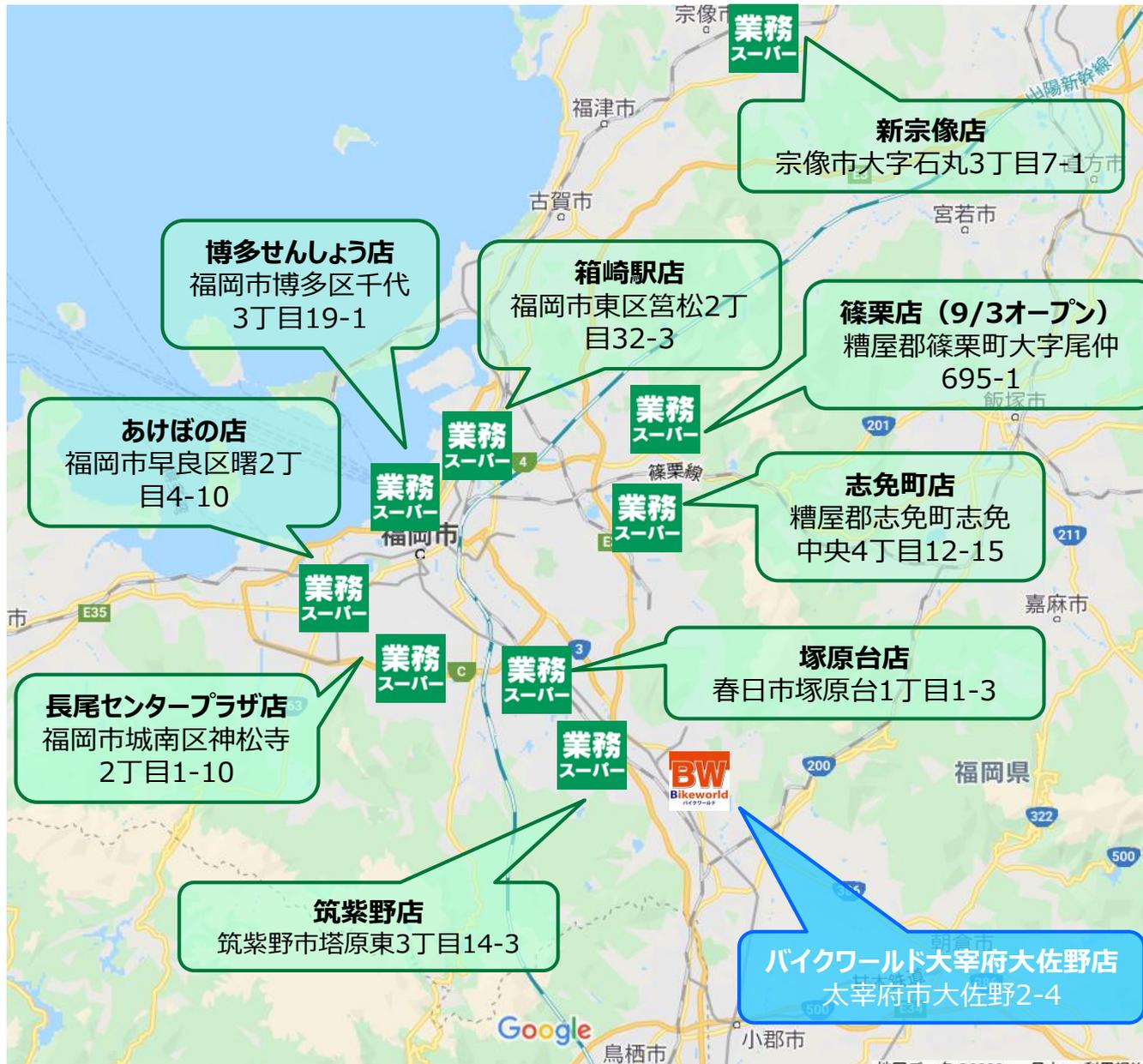
業務スーパー153店舗中、「お肉のてらばやし」108店舗、「めぐみの郷」32店舗がテナントとして出店しています。

(2020年8月31日現在) 17



**563**  
店舗 (計)





## 九州内店舗一覧 (福岡県以外)

**平成店※**  
熊本市南区平成2丁目2-22

**辛島公園店※**  
熊本市中央区辛島町2-1

**長崎旭町店**  
長崎市旭町5-1

注) ※お肉のてらばやし併設店

## オープン予定

**城浜団地店 (9/17オープン)**  
福岡市東区城浜団地1-28

**お肉のてらばやし箱崎店  
(10/1オープン)**

**合志店 (熊本市)  
(10/29オープン)**

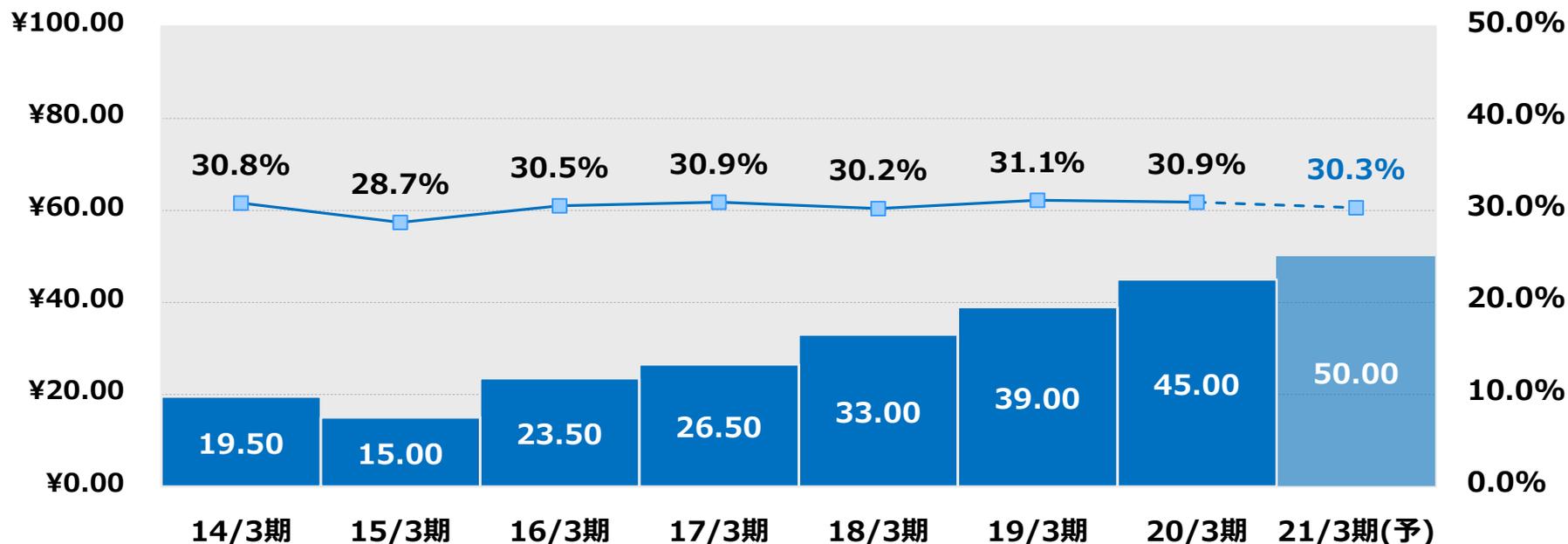
- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ **今期業績および通期業績予想について**
- ◆ 中長期の成長戦略について
- ◆ **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について**
- ◆ 参考資料

巣ごもり消費の恩恵で、業務スーパーおよび食品関連が揃って好調。

(単位：百万円)

	20年3月期 1Q	21年3月期 1Q	前年同期比 増減率	21年3月期 通期予想	進捗率
売上高	31,205	40,035	28.3%	170,000	23.6%
営業利益	1,264	1,698	34.3%	6,700	25.3%
経常利益	1,334	1,773	32.9%	7,000	25.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	839	1,247	48.6%	4,000	31.2%

**当期は、中間配当を25.00円、期末配当を25.00円、年間50.00円を予定  
配当性向30%を目安に安定した配当を目指しております**



単元株数： 100株 株価(7/31終値)： 2,657円

上場金融商品取引所： 東京証券取引所(証券コード7508)

注) 2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割の比率で2019年3期以前の「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」「1株当たり配当金」を算定しております。

- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ 今期業績および通期業績予想について
- ◆ **中長期の成長戦略について**
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について
- ◆ 参考資料

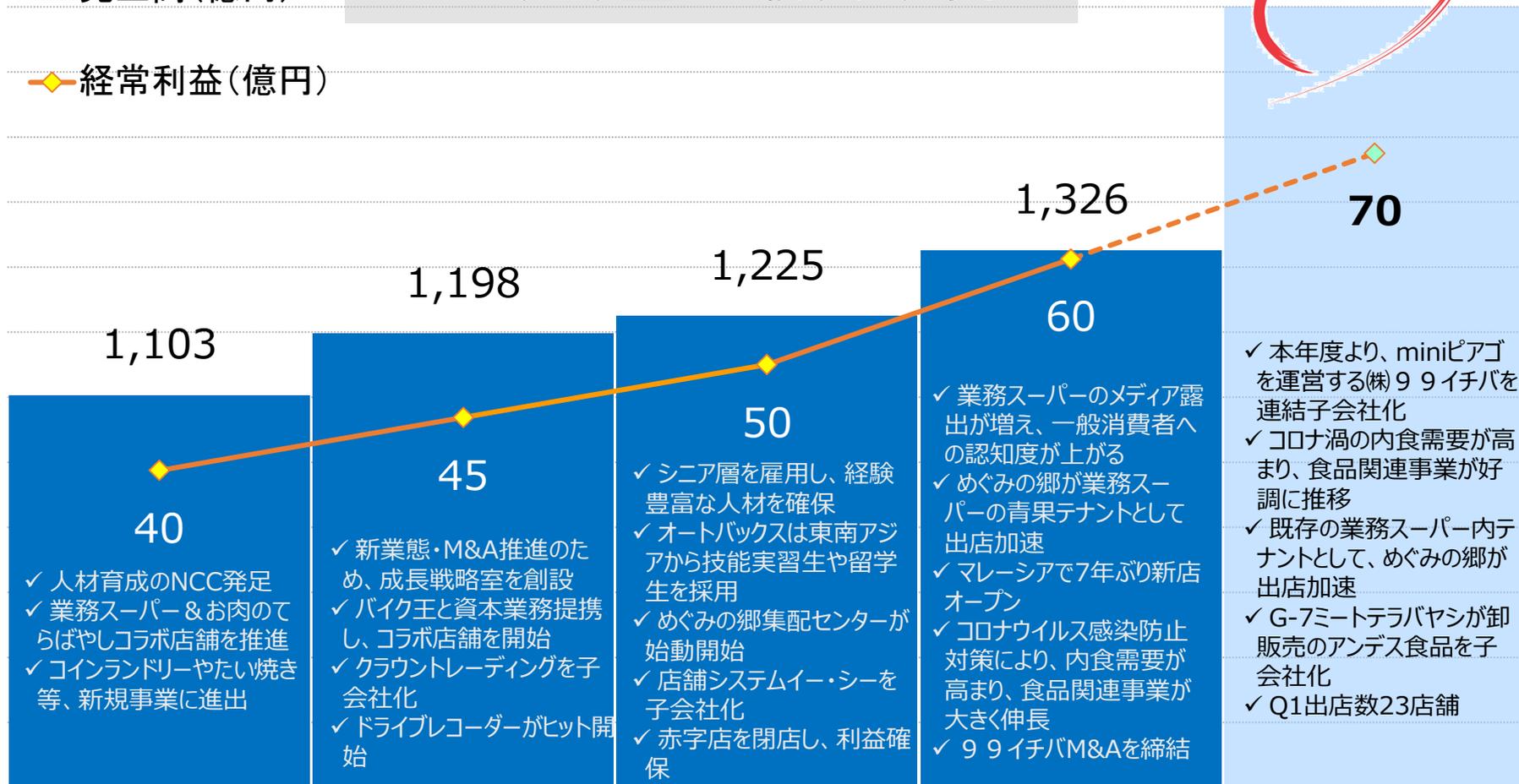


目標

## 5ヶ年計画～最終年度～

■ 売上高(億円)

◆ 経常利益(億円)



- ✓ 人材育成のNCC発足
- ✓ 業務スーパー&お肉のてらばやしコラボ店舗を推進
- ✓ コインランドリーやたい焼き等、新規事業に進出

- ✓ 新業態・M&A推進のため、成長戦略室を創設
- ✓ バイク王と資本業務提携し、コラボ店舗を開始
- ✓ クラウンレーディングを子会社化
- ✓ ドライブレコーダーがヒット開始

- ✓ シニア層を雇用し、経験豊富な人材を確保
- ✓ オートボックスは東南アジアから技能実習生や留学生を採用
- ✓ めぐみの郷集配センターが始動開始
- ✓ 店舗システムイー・シーを子会社化
- ✓ 赤字店を閉店し、利益確保

- ✓ 業務スーパーのメディア露出が増え、一般消費者への認知度が上がる
- ✓ めぐみの郷が業務スーパーの青果テナントとして出店加速
- ✓ マレーシアで7年ぶり新店オープン
- ✓ コロナウイルス感染防止対策により、内食需要が高まり、食品関連事業が大きく伸長
- ✓ 99イチバM&Aを締結

- ✓ 本年度より、miniピアゴを運営する㈱99イチバを連結子会社化
- ✓ コロナ禍の内食需要が高まり、食品関連事業が好調に推移
- ✓ 既存の業務スーパー内テナントとして、めぐみの郷が出店加速
- ✓ G-7ミートテラバヤシが卸販売のアンデス食品を子会社化
- ✓ Q1出店数23店舗

2017/3  
店舗数

386

2018/3

415

2019/3

409

2020/3

441

2021/3

595

創業100周年時（2076年）

売上高 1兆円 経常利益 500億円

100年企業グループを目指します



日本及びアジア・ASEAN地域で事業展開  
するグローバル企業グループを目指します

- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ 今期業績および通期業績予想について
- ◆ 中長期の成長戦略について
- ◆ **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について**
- ◆ 参考資料

## 業務スーパー

- 神戸物産（本部）と協議の上、4/9より時短営業
- 大阪府の要請により、高齢者及び妊婦の優先入場時間を設定

## オートバックス

- オートバックスセブン（本部）と協議し、4/8から時短営業
- マレーシアは政府による活動制限令により、3/18より全店休業したが、5/4より営業再開

## カーブス

- カーブスジャパン（本部）の指示のもと、4/11から全店休業

## その他

- めぐみの郷、バイクワールド、お肉のてらばやし、miniピアゴは時短営業

**商業施設内店舗（いきなりステーキ、RINGO、ZAKUZAKU）は休業**

**G-7HD本社および各社事務部門においては、テレワークや時短勤務を取り入れ、会議室を執務用に変更し、「3密」を回避。**

2020年4月8日付社内通達

- ❑ お客様及び従業員の安全確保を最優先で行動する。
- ❑ 常時、手洗い・うがい・手指消毒の徹底。
- ❑ 3密（密接・密集・密閉）を避ける。
- ❑ 必要最低限の外出以外は行わない。
- ❑ 店舗及び事務所内の換気を徹底。
- ❑ 対面での会議は、必要不可欠なもの以外は行わない。
- ❑ 発熱等、感染が疑われる場合は出勤しない。

### 緊急事態宣言解除後、引き続き継続

- 店舗のレジ回りには飛沫防止カーテンの設置、お客様とのソーシャルディスタンスの確保。
- 例年開催している、「G-7モールフェスティバル」等、大型イベントや販促は当面自粛をする。
- 会議等はWEBミーティングシステムを活用し、大人数を1か所に集めない。
- 引続き、不要不急の県外出張は自粛する。事業会社社長を含め、県外出張の際は、ホールディングス総務部まで届け出を提出。
- マスク着用による熱中症対策。

- 緊急事態宣言による休業要請を受けた店舗の従業員に対し、給与の100%を補償する。（パートアルバイト含む全従業員）
- 全従業員に「新型コロナウイルス対策給付金」として現金1万円を支給。（支給日：4月27日）

- ◆ G-7ホールディングスについて
- ◆ G-7グループの主な事業
- ◆ 今期業績および通期業績予想について
- ◆ 中長期の成長戦略について
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について
- ◆ **参考資料**

## 株式会社G-7ホールディングス 純粋持株会社

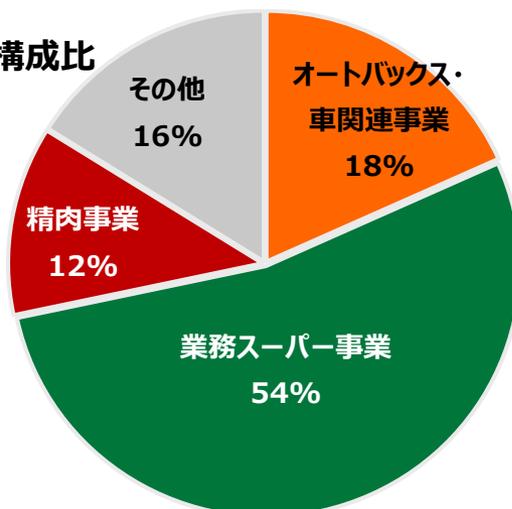


## 2021年3月期Q1セグメント別の業績

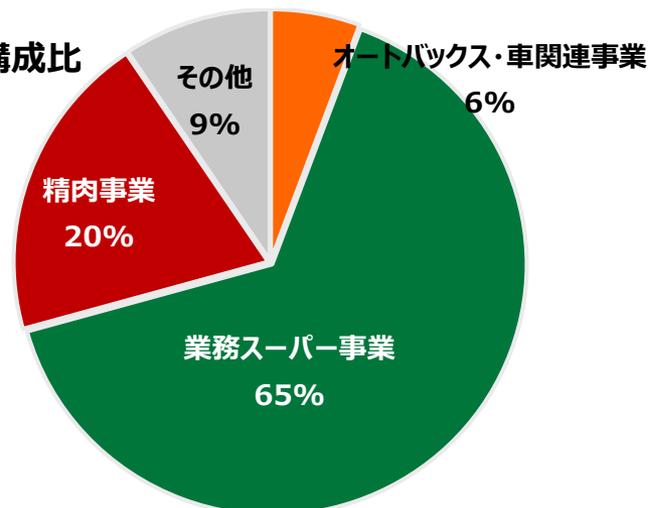
(単位：百万円)

	売上高	増減	対前年同期 増減率	経常利益	増減	対前年同期 増減率
オートバックス・ 車関連事業	7,318	▲1,383	▲15.9%	98	▲230	▲69.9%
業務スーパー事業	21,378	+4,296	25.2%	1,127	+306	37.2%
精肉事業	4,887	+1,991	68.7%	345	+206	147.1%
その他	6,450	+3,925	155.4%	163	+127	350.6%

売上高構成比



経常利益構成比



当社グループは、「精肉事業」の量的な重要性が増したことを機に、当第1四半期連結会計期間よりグループの経営管理区分を見直し、従来の「業務スーパー・こだわり食品事業」を「業務スーパー事業」、「精肉事業」、「その他」に区分しました。

## 北海道地方

業務スーパー	9店舗
お肉のてらばやし	9店舗

## 東北地方

お肉のてらばやし	2店舗
----------	-----

## 関東地方

オートバックス	13店舗
オートバックスエクスプレス	2店舗
BPセンター	1店舗
業務スーパー	64店舗
お肉のてらばやし	73店舗
miniピアゴ	72店舗
バイクワールド	2店舗
めぐみの郷	15店舗
カーブス	20店舗
ステップゴルフ	3店舗
コインランドリー マンマチャオ	1店舗
いきなりステーキ	1店舗

## 中部地方

オートバックス	7店舗
BPセンター	1店舗
業務スーパー	36店舗
お肉のてらばやし	24店舗

## 中部地方

バイクワールド	2店舗
コインランドリー マンマチャオ	1店舗
めぐみの郷	6店舗

## 近畿地方

オートバックス	37店舗
スーパーオートバックス	2店舗
オートバックスエクスプレス	4店舗
オートバックスセコハン市場	1店舗
BPセンター	4店舗
大阪スズキカーズ	1店舗
土山サーキット	1店舗
バイクワールド	5店舗
業務スーパー	33店舗
お肉のてらばやし	28店舗
Green'sK	1店舗
良品買館	1店舗
めぐみの郷	23店舗
激安スーパーめぐみのさと	1店舗
神戸粉もん七つの壺	1店舗
いきなりステーキ	7店舗
R I N G O	1店舗
キングラム	1店舗

## 近畿地方

クロッカンシューザクザク	1店舗
たい焼き専門店やまや本舗	3店舗
コインランドリー マンマチャオ	3店舗

## 中国地方

オートバックス	8店舗
オートバックスエクスプレス	1店舗
BPセンター	1店舗
メガリサイクル王国	1店舗
ダイソー	1店舗
バイクワールド	1店舗
お肉のてらばやし	5店舗

## 九州地方

業務スーパー	11店舗
バイクワールド	1店舗
お肉のてらばやし	2店舗

## マレーシア

オートバックス	3店舗
バイクワールド	3店舗

## タイ

バイクワールド	1店舗
---------	-----

## 台湾

いきなりステーキ	1店舗
----------	-----

## 業界でのポジション～小売業ランキング

(2020年7月22日掲載 日経MJ小売業売上ランキングより)

1位	イオン	8,604,207	205,828
2位	セブン&アイ・ホールディングス	6,644,359	417,872
3位	ファーストリテーリング	2,290,548	252,447
			
49位	神戸物産（連結）	299,616	19,434
71位	オートバックスセブン（連結）	221,400	8,059
91位	イエローハット（連結）	141,031	11,095
<b>95位</b>	<b>G-7ホールディングス（連結）</b>	<b>132,642</b>	<b>5,995</b>
<b>154位</b>	<b>G-7スーパーマート</b>	<b>73,285</b>	<b>3,234</b>
174位	オーシャンシステム（連結）	61,999	1385
239位	アイエーグループ	38,160	1297
<b>258位</b>	<b>G-7・オート・サービス</b>	<b>32,020</b>	<b>1,852</b>
455位	バッファロー	9,067	488

調査方法：小売業を営む店舗を持つ企業1500社が対象。総売上高が上位500位以内の企業をランキング。

株式会社G-7ホールディングスは、地域貢献活動の一環としてスポーツチームや選手を支援しています。スポーツの支援を通じて、地域に根ざした企業として、更なる地域社会とのつながり、関係の強化に努めてまいりたいと考えております。

地元兵庫県にゆかりのある選手を含め、4名のプロゴルファーを応援しています。



吉田 弓美子    東 浩子    ささき しょうこ    浅井 咲希



2018年に軟式野球部「G7 BLUE REDS KOBE」が発足しました。G-7グループの有志社員が集い、軟式野球より社会人野球への所属を目指します。



モータースポーツ「ARTA」プロジェクトに参加し、G-7・オート・サービス社員「大西 隆生」がドライバーとして、レースに参戦しています。



J1リーグ「ヴィッセル神戸」とスポンサー契約しています。兵庫県加古川市で開催される「G-7モールフェスティバルNEW土山」には、マスコットのモーヴィも毎年参加してくれています。

株式会社 オートバックスセブン

クルマのことなら オートバックス



**本 部**  
(フランチャイザー)



**神戸物産**

KOBE BUSSAN CO., LTD.

プロの品質とプロの価格

**業務スーパー**

知名度  
ブランド  
ノウハウ

契  
約

加盟金  
ロイヤリティ

**加盟店**

(フランチャイジー)

株式会社 G-7・オート・サービス



株式会社 G-7 スーパーマート

特定の経営ノウハウをもつ本部が加盟店に対し、商品やサービス、店舗設計など経営全般のノウハウを含めた販売権を提供し、加盟店は定められた手数料を支払うというフランチャイズ・システムに従った小売形態をいう。フランチャイズ・チェーンの本部をフランチャイザー、加盟店をフランチャイジーという。(新語時事用語辞典)

個人投資家の皆様に、G-7グループの事業と業績をわかりやすくご紹介しています

IRサイト : <https://www.g-7holdings.co.jp/investors>



オートバックス・業務スーパーで展開する  
株式会社 G-7 ホールディングス

企業情報 グループ事業 IR情報 CSR 採用情報 お問い合わせ

ホーム > IR情報

## IR情報

Investors

G-7ホールディングスのIR情報をご案内します。

決算短信、中期経営計画など株主様・投資家に向けた情報を掲載しています。

トップインタビュー > 財務ハイライト > 決算短信 >

### IRニュース

2019.12.02	株式分割及び定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ (129KB)
2019.11.29	第45期中間報告書 (2019年4月1日～2019年9月30日) (3,012KB)
2019.11.28	第45期中間決算説明会動画

直近の決算説明会動画を公開しています。



### 説明会資料

2020年3月期

第45期中間決算説明会動画

第45期中間決算説明資料 (7,415KB)

バックナンバー

- IR情報
- 経営方針
- 財務ハイライト
- 株式情報
- IRライブラリ
- 決算短信
- 有価証券報告書
- 説明会資料
- 株主通信

「ひと目でわかるG-7ホールディングス」では、数字で当社の紹介をしています。

ひと目でわかるG-7ホールディングス

G-7グループは「オートバックス」と「業務スーパー」を核に、全国に展開するメガフランチャイジーです。

G-7グループの4つのセグメント




### ひと目でわかるG-7ホールディングス

- IR情報
- 経営方針 +
- 財務ハイライト +
- 株式情報 +
- IRライブラリ +
- IRカレンダー +
- その他 -
- よくある質問 >
- IRお問い合わせ >
- ひと目でわかるG-7ホールディングス >



**<お問合せ>**

**株式会社G-7ホールディングス IR担当 井手 かおる**

**TEL : 078-797-7777 E-mail : kaoru.ide@g-7holdings.co.jp**

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。